

令和7年度



第1回 新城市民病院建設基本構想検討委員会

令和7年8月7日（木）

【目次】

1. 新城市民病院建設基本構想検討委員会 設置の目的と今後の予定
2. 新城市民病院の概要
3. 新城市民病院の主な沿革
4. 新病院建設に向けた経緯
5. 外部環境調査（新城市民病院を取り巻く状況）
6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）
7. 基本構想策定に向けて
8. 基本構想の方向性（案）

1. 新城市民病院建設基本構想検討委員会 設置の目的と今後の予定

設置の目的

- 新城市民病院の新病院の建設にあたり、新病院が地域医療を担う自治体病院としての機能、役割等の新城市民病院建設基本構想（以下「基本構想」という。）策定に関し、幅広い分野の意見及び助言を計画へ反映させるため、新城市民病院建設基本構想検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

今後の予定

日程	報告・検討内容
第1回 令和7年8月7日（木）	・ 新城市民病院の概要や現状等について ・ 基礎調査、分析について ・ 基本構想の方向性（案）について
第2回 令和7年10月頃 開催予定	・ 基本構想の骨子（医療機能や規模）について
第3回 令和7年12月頃 開催予定	・ 基本構想の素案について

2. 新城市民病院の概要

新城市民病院理念

温かい心と確かな技術で、地域住民に信頼され選ばれる病院

新城市民病院憲章

新城市民病院は、奥三河の基幹病院として

1. 患者様本位の医療を行い、思いやりのあるサービスに努め、愛される病院となるよう心がけます。
2. 安全で適切な医療を提供するため、全職員が自己研鑽に努め、質の高い医療サービスを提供します。
3. 高度医療機器の整備、病診連携の促進を図り地域住民のニーズに対応した医療に努めます。
4. インフォームド・コンセントを重視し、プライバシーの尊重及び公平・公正な医療の提供によって、安心感と信頼感のもてる医療を提供します。
5. 健全な病院経営を目指し、業務効率の向上に努めます。

2. 新城市民病院の概要

名称	新城市民病院		
病院長	金子 猛		
所在地	愛知県新城市字北畑 3 2 番地 1		
医療圏	愛知県 東三河北部医療圏（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）		
病床数	199床（一般病床） ※26床休床中		
診療科	■ 総合診療科 ■ 呼吸器内科 ■ 小児科 ■ 整形外科 ■ 消化器外科 ■ 大腸・肛門外科 ■ 耳鼻いんこう科 ■ 歯科口腔外科	■ 精神科 ■ 循環器内科 ■ 外科 ■ 脳神経外科 ■ 皮膚科 ■ 婦人科 ■ リハビリテーション科 ■ 麻酔科	■ 脳神経内科 ■ 腎臓内科 ■ 血管外科 ■ 呼吸器外科 ■ 泌尿器科 ■ 眼科 ■ 放射線科
主な医療機器	■ X線C T装置（80列マルチディテクタ） ■ 超音波診断装置 ■ X線一般撮影装置 ■ 内視鏡下手術セット ■ X線骨密度測定装置 ■ 人工透析装置 ■ 化学発光免疫測定装置 ■ 微生物検査同定・薬剤感受性検査機器 ■ 脳波計 ■ 睡眠ポリグラフィー・自動解析装置	■ MRI装置 ■ 内視鏡装置（経口、経鼻） ■ 乳房X線撮影装置 ■ 超音波凝固切開装置 ■ ホルミウムレーザー装置 ■ 多項目自動分析装置 ■ 血液ガス分析装置 ■ 長時間心電図記録器 ■ P C R装置	
その他施設	■ 院内保育所（定員10名） ■ 職員食堂 ■ 理容室 ■ 看護学校生徒研修室	■ 医師住宅（病院所有2棟8世帯） その他民間からの借り上げあり ■ 喫茶室 ■ 売店	

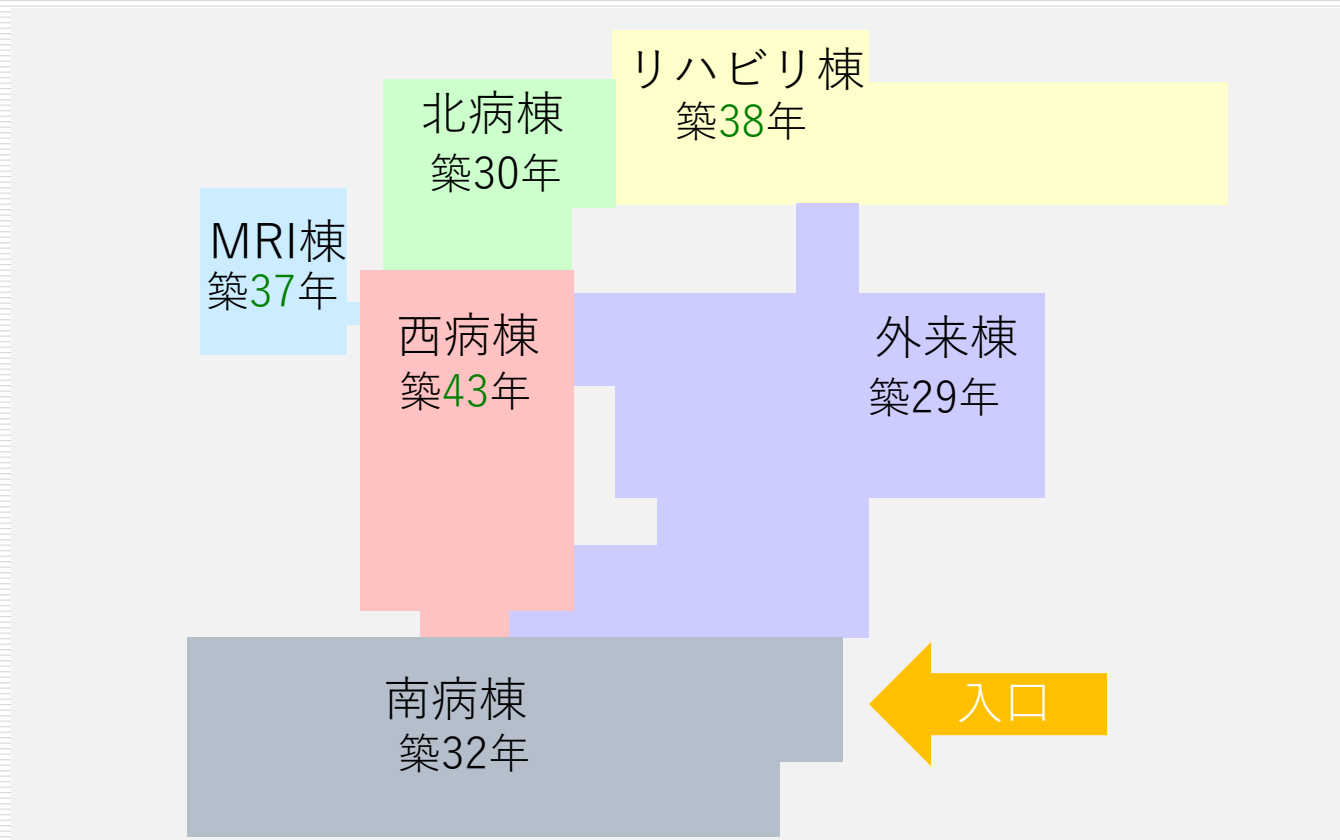
3. 新城市民病院の主な沿革

昭和20年	11月	20日	町立新城病院として開院 診療科目 内科、外科、耳鼻科、眼科、歯科、病床数20床、職員 医師5名、薬剤師2名、X線技師1名
昭和22年	4月	1日	新城町国民健康保険組合に移管、新城国保病院と改称
昭和22年	9月	1日	一般病棟（25床）新築、病床数40床に変更
昭和25年	11月	1日	一般病棟（25床）、結核病棟（76床）増築、病床数126床に変更（一般50床、結核76床）
昭和27年	10月	1日	組合立新城伝染病棟（45床）併設増築、病床数177床に変更（一般50床、結核82床、伝染45床）
昭和33年	11月	1日	市制施行により新城市民病院と改称
昭和34年	2月	5日	病床数227床に変更（一般86床、結核96床、伝染45床）
昭和37年	5月	31日	一般病床（60床）新設、病床数287床に変更（一般146床、結核96床、伝染45床）
昭和40年	12月	15日	組合立伝染病棟（30床）増改築、病床数270床（一般144床、結核96床、伝染30床）に変更
昭和43年	12月	4日	病床数を一般192床、結核48床、伝染30床に変更
昭和54年	1月	1日	病床数262床に変更（一般216床、結核16床、伝染30床）
昭和57年	4月	1日	病床数326床に変更 （一般280床、結核16床、伝染30床）
平成元年	4月	1日	病床数317床に変更（一般301床、結核16床）
平成 8年	11月	26日	災害拠点病院に指定
平成14年	6月	1日	医療相談室開設
平成14年	12月	2日	結核病床廃止、病床数301床に変更（一般301床）
平成14年	12月	26日	LDR室新設
平成15年	8月	19日	病床を一般255床、療養46床に変更
平成16年	10月	1日	地域医療連携室開設
平成17年	9月	15日	病床数271床に変更（一般255床、療養16床）
平成19年	10月	1日	オーダーリングシステム導入、64列マルチスライスCT導入、ホルミウムレーザー装置導入
平成24年	4月	1日	病床数を201床に変更（一般201床）
平成24年	11月	26日	電子カルテシステム導入
平成26年	3月	27日	DMAT指定医療機関に指定
平成27年	1月	1日	病床数を199床に変更 （一般199床）
平成27年	1月	1日	地域包括ケア病床 開設
平成28年	4月	1日	DPC対象病院に認定、地域包括ケア病棟 開設

4. 新病院建築に向けた経緯

(1) 現状建物の築年数と現状

- 当院は、医療需要に応えるため、増改築を行ってきました。
- 最も古い西病棟は、築43年経過しており、法定耐用年数年数の39年を超過しています。
- 現在、全ての建物で、老朽化が進んでいます。



4. 新病院建設に向けた経緯

(2) 新病院再整備に向けた検討スケジュール

年度	平成29		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
プラン			改革プラン 策定		経営強化 プラン策定		
調査・診断	西棟 耐震診断		新病院整備に 向けた基礎調査	病院施設 劣化調査			
あり方検討 構想・計画				再整備に向けた あり方検討会	パブリックコメント 有識者会議	基本構想 基本計画	
備考	- 西棟は旧耐震基準。 - IS値は1.0を下回り、最低値が0.402と、震度6～7程度の地震で倒壊、または、崩壊する危険性あり。		- 改革プランにて、老朽化が進む中、医療提供を継続するため再整備が課題と提言。 - 建物等の調査、検証を実施。	- 劣化調査では、各建物の劣化状態が改めて浮き彫りとなる。 - あり方検討会では、全会一致で「移転新築案」となる。	- 住民や有識者、医師会、歯科医師会等から、意見を聴取。 - 市として移転新築案で進む方針を決定。		

4. 新病院建設に向けた経緯

(3) 施設劣化調査報告書 一次調査結果総括表（令和4年9月）より

- 現状の建物の状況を把握するため、令和4年9月に実施した施設劣化調査を実施しました。
- その結果、建物の基礎や躯体を除き老朽化の進行を改めて確認、何らかの対策が必要という結論に至っています。

建物名	築年数	屋根	外装	内装	躯体	基礎	機械設備	電気設備	野外 (敷地)
西病棟	43年	D	C	C	A	A	D	C	C
リハビリ棟	38年	C	C	C	A	A	C	C	C
MRI棟	37年	A	D	B	A	A	C	C	C
南病棟	32年	D	D	D	A	A	C	D	C
北病棟	30年	C	B	C	A	A	C	C	C
外来棟	29年	C	D	C	A	A	C	D	C

良い A < B < C < D 悪い

4. 新病院建設に向けた経緯

(4) 新城市民病院あり方検討会や市としての方針決定の過程

- 令和4年度には、「新城市民病院あり方検討会」を5回にわたり開催しました。
- 「現地建替え」、「既存施設の改修」、「移転新築」の3つの再整備の方法について、建築や医療等、様々な視点で検討を実施しました。
- 最も課題が少なく、地域の基幹病院として今後も責務を果たしていくためにも、**全会一致で移転新築案**であるという意見が取りまとめられました。

	現地建替え	既存施設の改修	移転新築
費用	△	◎ ※	○
工期	△	○	◎
あり方検討会等での意見	○	△	◎
総合評価	○	△	◎

※…数十年先に別途、大規模改修（追加費用）が必要となる。

- 令和5年度には、市民の声をきくパブリックコメントを実施しました。また新城市医師会、北設楽郡医師会、新城市歯科医師会、新城市薬剤師会、代表区長等からの意見を聴取しました。
- 総合的に判断し、**市として令和5年11月に再整備手法は移転新築案**とすることを決定しました。

5. 外部環境調査（新城市民病院を取り巻く状況）

（1）東三河北部医療圏に所属

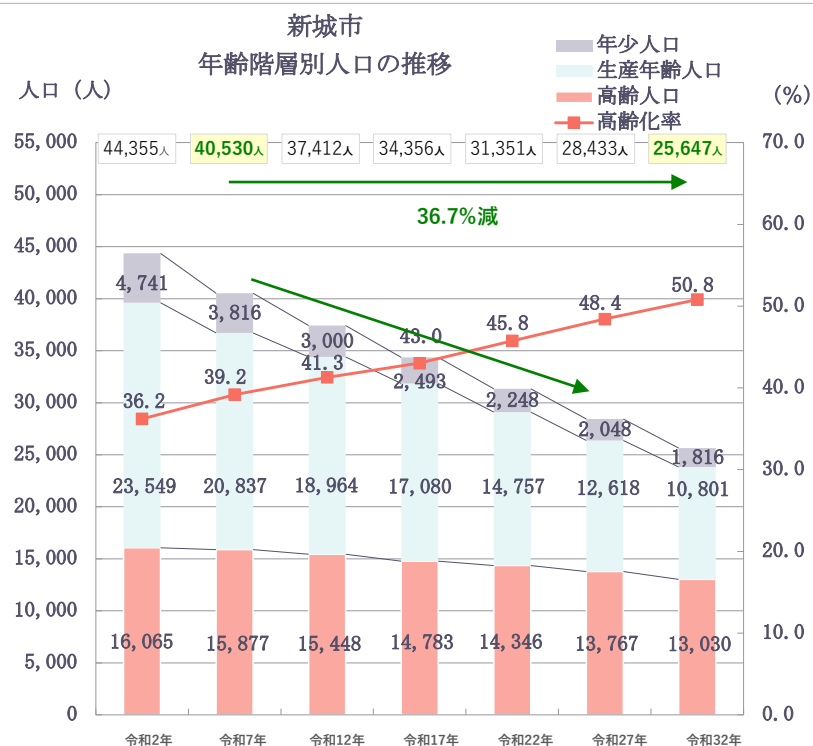
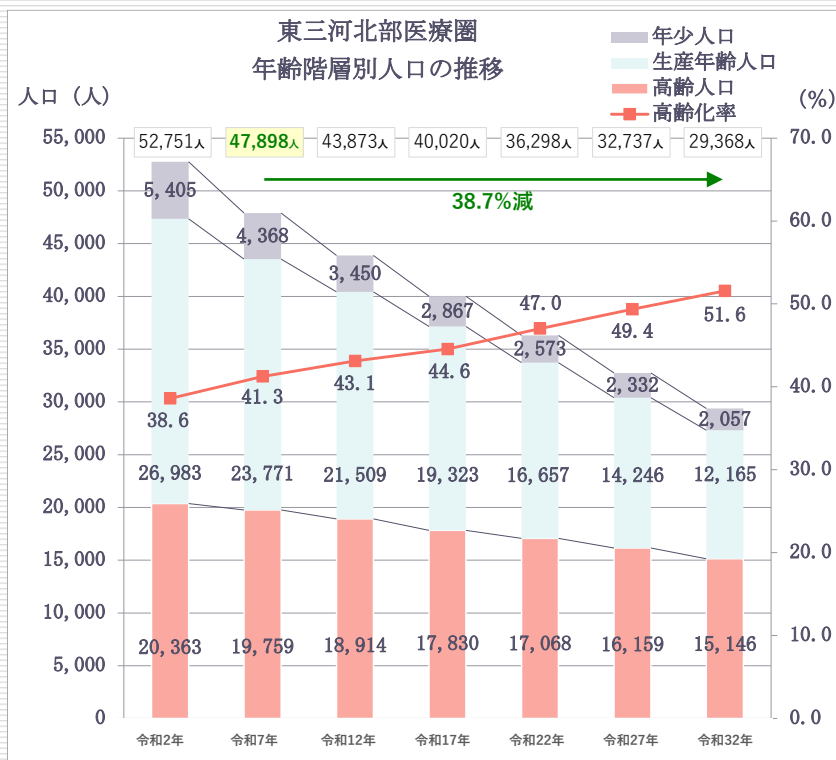
- 新城市は、1市2町1村（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）で構成する**東三河北部医療圏**（2次医療圏）に含まれます。
- 愛知県には11の2次医療圏が制定されており、住民の医療ニーズに対応するため、2次医療圏内で救急医療や入院医療等、一般的な医療を提供できるように整備されています。
- なお、設楽町や東栄町、豊根村には大きな医療機関はなく、**新城市民病院が東三河北部医療圏の重要な医療拠点**となります。



5. 外部環境調査（新城市民病院を取り巻く状況）

（2）東三河北部医療圏や新城市の人口

- 令和7年（2025年）時点の東三河北部医療圏（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）の人口は47,898人、そのうち、新城市は40,530人で約84.6%を占めます。
- 令和32年（2050年）には、新城市の人口は25,647人（36.7%減少）、高齢化率は50.8%になると見込まれます。言い換えると『**人口は現在の3分の2となり、2人に1人は65歳以上になる**』ことが予想されます。



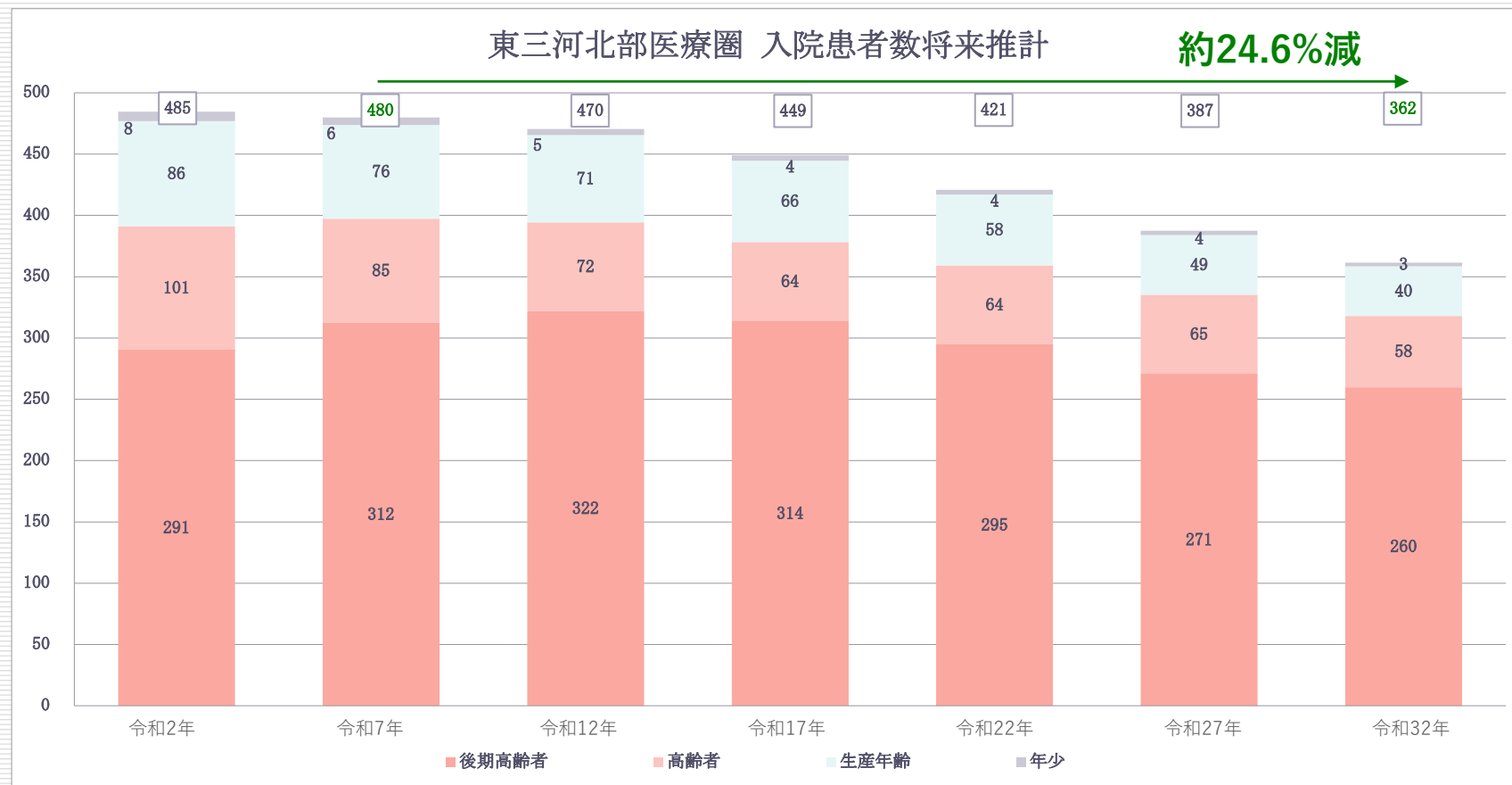
■ 出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5年（2023年）推計」より

■ 出典：令和5年（2023年）患者調査（受療率（人口10万対）、性・年齢階級×傷病大分類×入院-外来・都道府県別（入院）（厚生労働省保健統計室）

5. 外部環境調査（新城市民病院を取り巻く状況）

（3）東三河北部医療圏の入院患者数将来推計

- 東三河医療圏の将来入院患者数は、**人口減少に伴って徐々に減少**することが推察され、令和7年（2025年）の480人から、令和32年（2050年）の362人へ約24.6%減少する予測です。



■ 出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5年（2023年）推計」より

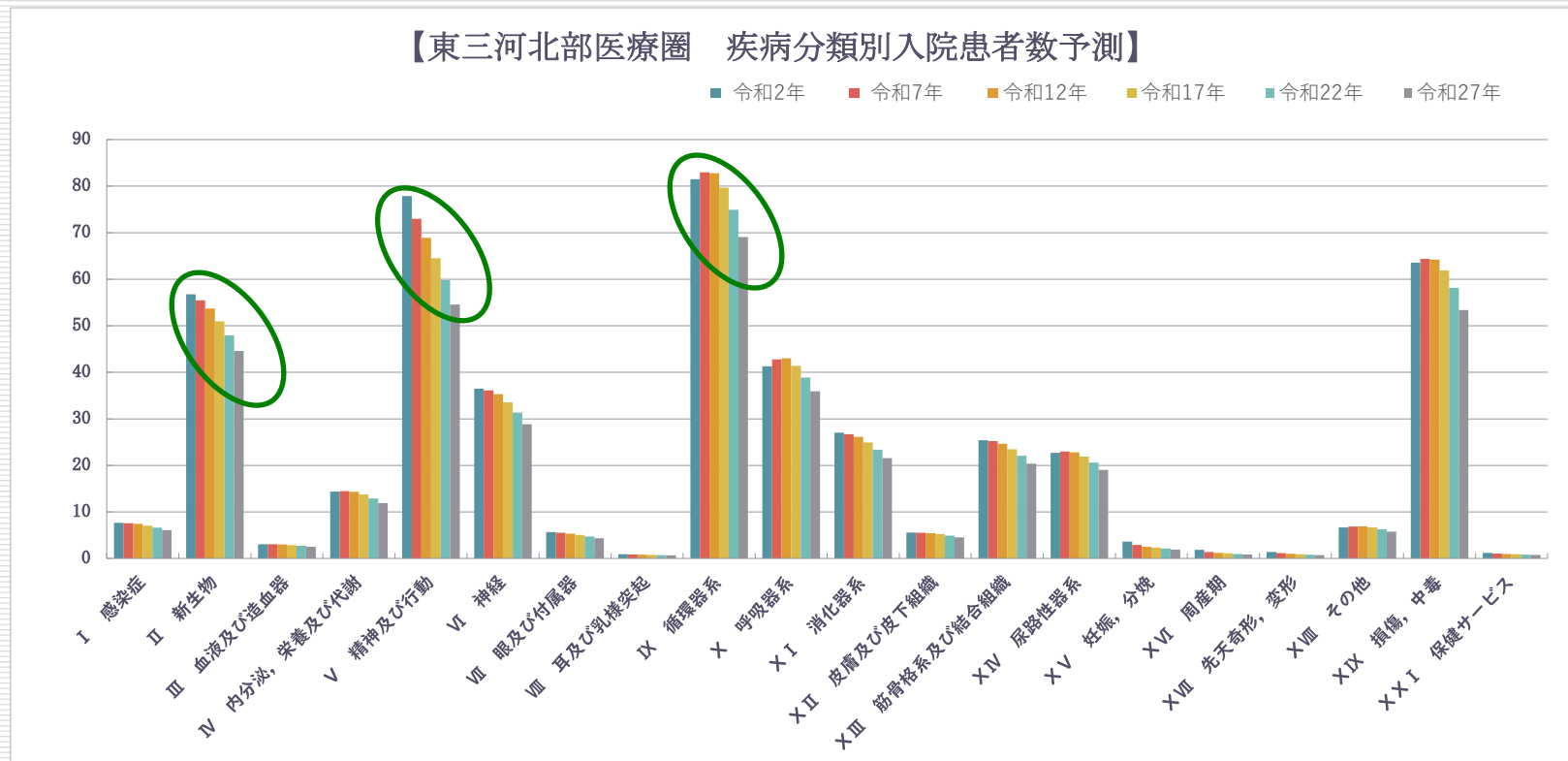
■ 出典：令和5年（2023年）患者調査（受療率（人口10万対）、性・年齢階級×傷病大分類×入院－外来・都道府県別（入院）（厚生労働省保健統計室）

■ 小数点1位以下を四捨五入しているため、合計数に差異が生じている場合がございます。

5. 外部環境調査（新城市民病院を取り巻く状況）

（4）東三河北部医療圏の疾病分類別入院患者数予測

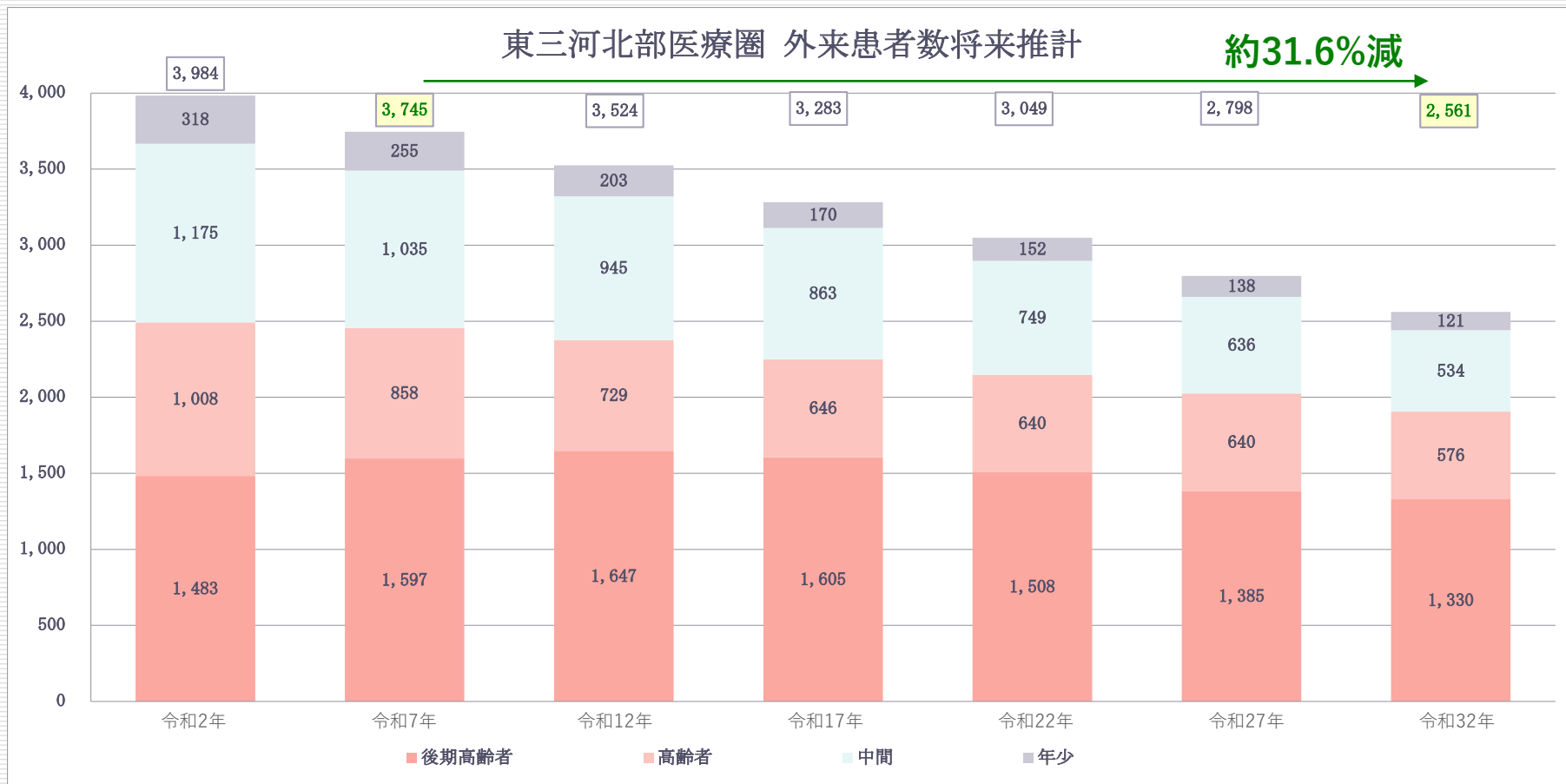
- 東三河北部医療圏の疾病分類別将来入院患者数は、一部の疾患で令和7年（2025年）から令和12年（2030年）にかけ微増するが、それ以降、全ての疾患において**減少、または緩やかに減少する**ことが予測されます。
- 特に、「Ⅱ新生物」「Ⅴ精神及び行動」「Ⅸ循環器」において減少が予測されます。



5. 外部環境調査（新城市民病院を取り巻く状況）

（5）東三河北部医療圏の外来患者数将来推計

- 東三河医療圏の将来外来患者数は、**人口減少に伴って徐々に減少する**ことが推察され、令和7年（2025年）の3,745人から、令和32年（2050年）の2,561人へ約31.6%減少する予測です。



■ 出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5年（2023年）推計」より

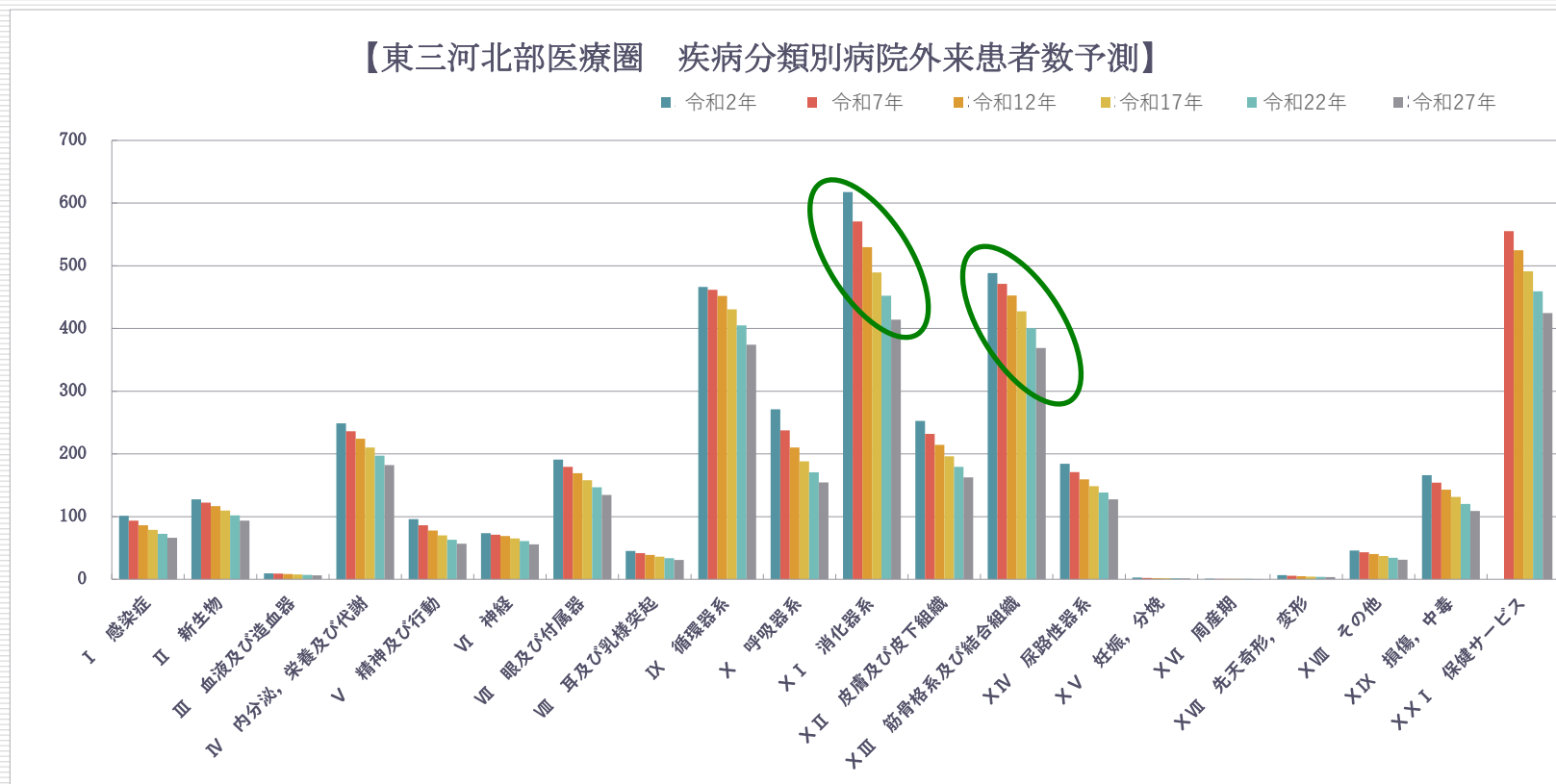
■ 出典：令和5年（2023年）患者調査（受療率（人口10万対）、性・年齢階級×傷病大分類×入院－外来・都道府県別（入院）（厚生労働省保健統計室）

■ 小数点1位以下を四捨五入しているため、合計数に差異が生じている場合がございます。

5. 外部環境調査（新城市民病院を取り巻く状況）

（6）東三河北部医療圏の疾病分類別外来患者数予測

- 東三河北部医療圏の疾病分類別将来外来患者数は、**全ての疾患において減少**、または、緩やかに減少します。
- 特に「XI消化器系」「XIII筋骨格系及び結合組織」において大きな減少が予測されます。



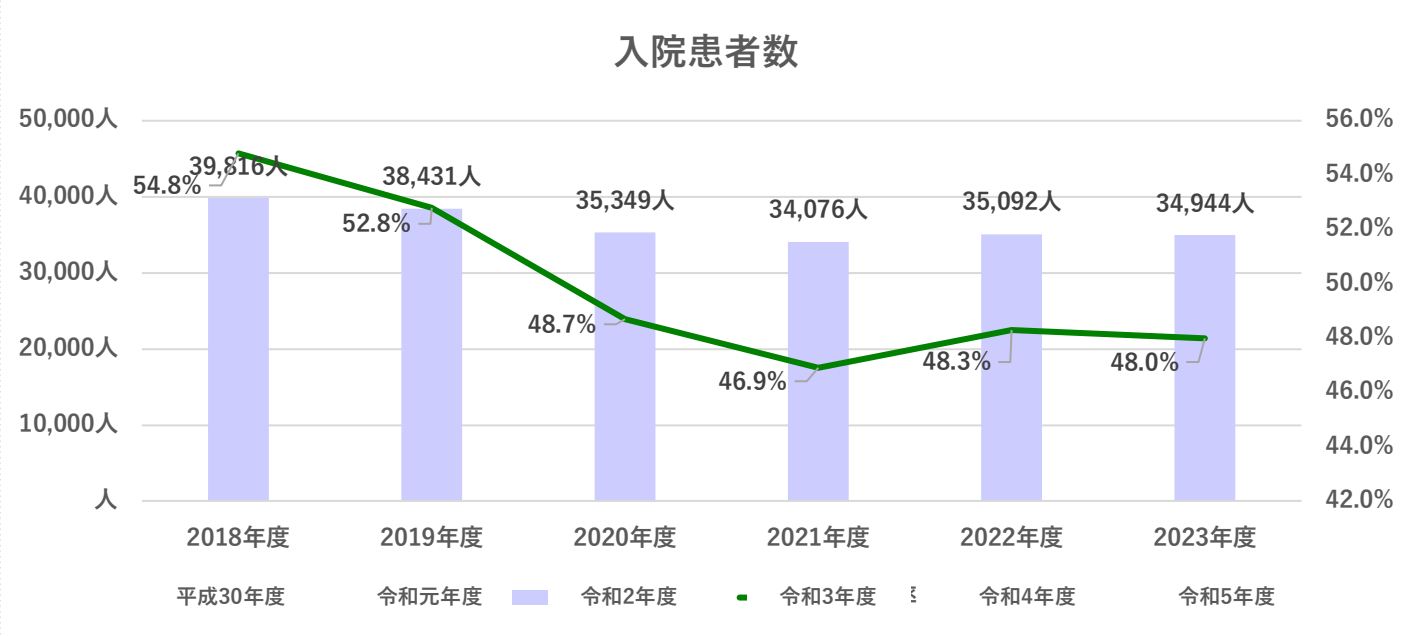
■ 出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5年（2023年）推計」より

■ 出典：令和5年（2023年）患者調査（受療率（人口10万対）、性・年齢階級×傷病大分類×入院－外来・都道府県別（入院）（厚生労働省保健統計室）

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（1）入院患者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延入院患者数	39,816人	38,431人	35,349人	34,076人	35,092人	34,944人
一日平均患者数	109.1人	105.0人	96.8人	93.4人	96.1人	95.5人
病床利用率	54.8%	52.8%	48.7%	46.9%	48.3%	48.0%

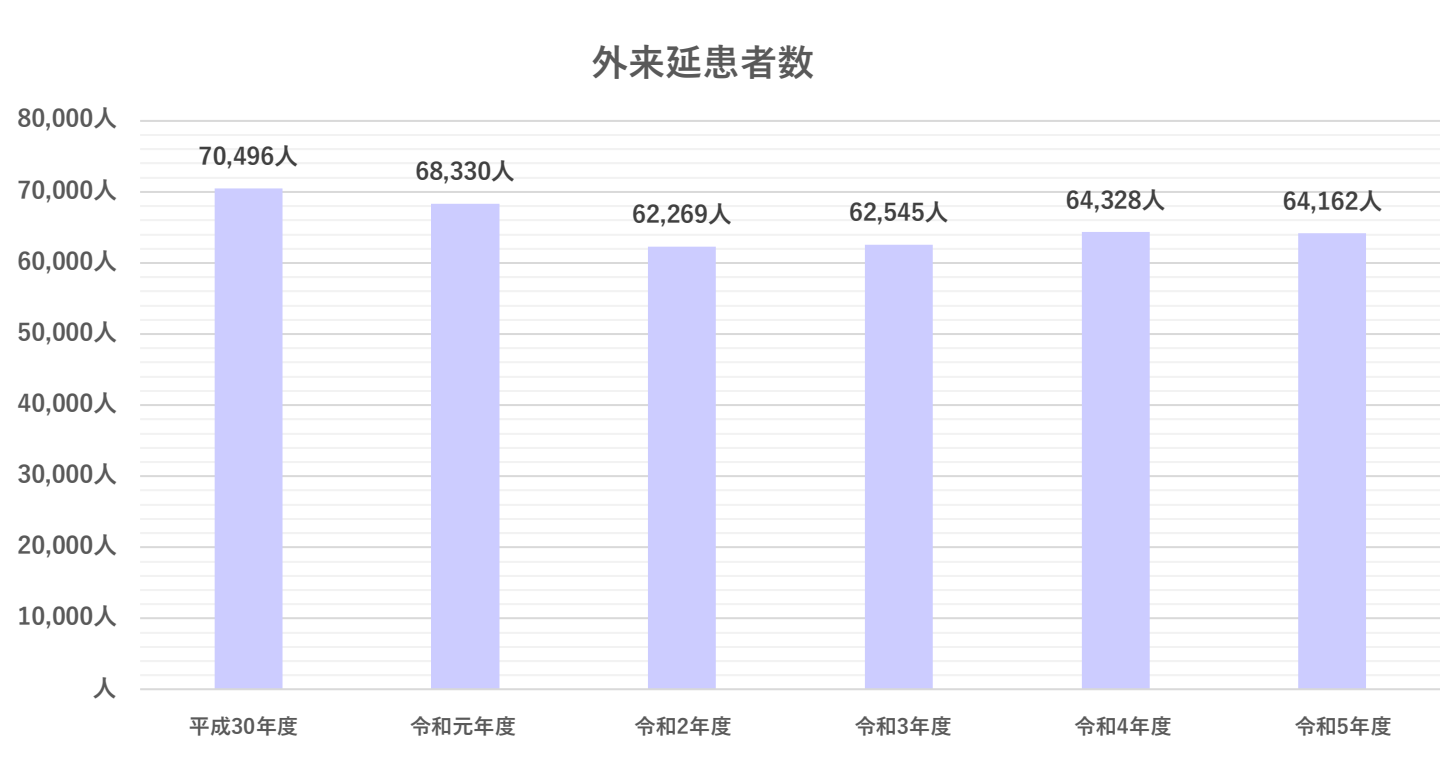


■ 出典：院内資料より。
■ 出典元（地方公営企業年鑑等）と院内での集計方法が異なるため、17ページに記載している各種指標と若干の差異が生じている場合がございます。

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（2）外来患者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	70,496人	68,330人	62,269人	62,545人	64,328人	64,162人
一日平均患者数	288.9人	284.7人	256.3人	258.5人	264.7人	264.0人



■ 出典：院内資料より。
■ 出典元（地方公営企業年鑑等）と院内資料の集計方法が異なるため、17ページに記載している各種指標と若干の差異が生じている場合がございます。

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（3）主要経営指標の比較

指標		新城市民病院	豊橋市民病院	豊川市民病院	出典・備考
所在する市の人口		40,876人	360,915人	183,318	●あいちの人口（2025年5月1日現在） 愛知県人口動向調査結果 月報より ● https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/570889.pdf
2次医療圏		東三河北部医療圏	東三河南部医療圏	東三河南部医療圏	●東三河北部医療圏：新城市、設楽町、東栄町、豊根村 ●東三河南部医療圏：豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市
許可病床数		199床	800床	501床	●令和5年度 地方公営企業年鑑（総務省）より
入院	1日平均入院患者数	95人	669人	436人	●令和5年度 地方公営企業年鑑（総務省）より
	平均診療単価	46,158円	79,115円	68,138円	●令和5年度 地方公営企業年鑑（総務省）より
	平均在院日数	14.7日	11.3日	12.6日	●令和5年度 地方公営企業年鑑（総務省）より ●一般病床のみ
	病床利用率	48.0%	85.3%	92.1%	●令和5年度 地方公営企業年鑑（総務省）より
外来	1日平均外来患者数	264人	1,911人	1,214人	●令和5年度 地方公営企業年鑑（総務省）より
	平均診療単価	17,414円	28,821円	18,062円	●令和5年度 地方公営企業年鑑（総務省）より
救急	救急告示	2次救急	3次救急	3次救急	
	救急車の受入れ	1,225件	8,490件	6,892件	●令和5年度 病床機能報告 ●1年間の受入れ件数
手術件数		614件	6,811件	4,172件	●令和5年度 病床機能報告 ●1年間の手術件数

■ 出典は、「出展・備考」の記載の通りです。
■ 出典元（地方公営企業年鑑等）と院内資料の集計方法が異なるため、他のページに記載している各種指標と若干の差異が生じている場合がございます。

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（４）各種実績について①

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
紹介率	45.8%	41.0%	40.2%	40.5%	37.4%	38.5%
逆紹介率	62.1‰	60.2‰	65.5‰	89.4‰	89.0‰	83.8‰
手術件数	567件	434件	466件	371件	627件	507件
内視鏡件数	3,669件	3,682件	3,402件	3,217件	3,107件	2,922件
人工透析件数	9,638件	9,750件	9,412件	8,831件	9,381件	8,892件
人間ドック件数	3,040件	2,941件	2,770件	2,702件	2,632件	2,727件
健康診断件数	2,229件	2,139件	2,326件	2,237件	2,262件	2,524件
薬剤管理指導	838件	691件	962件	563件	1,056件	1,089件
CT撮影件数	7,760件	7,728件	7,666件	7,400件	7,935件	7,352件
MRI撮影件数	2,176件	2,141件	2,060件	2,110件	2,059件	1,979件
高度医療機器共同利用件数	1,163件	1,072件	888件	884件	751件	735件
臨床検査件数	※	※	※	125,676件	138,762件	129,282件

■ ※…集計方法が令和3年度から変更になったことに伴い「-」とする。

■ 出典：院内資料より。

■ 出典元（地方公営企業年鑑等）と院内資料の集計方法が異なるため、17ページに記載している各種指標と若干の差異が生じている場合がございます。

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（４）各種実績について②

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
リハビリ単位数	38,819単位	39,173単位	40,363単位	40,262単位	40,875単位	43,078単位
訪問リハビリ単位数	3,565単位	3,644単位	3,374単位	3,397単位	3,359単位	3,383単位
栄養指導件数	2,079件	2,136件	2,232件	2,188件	2,106件	1,747件
特定保健指導	136件	91件	110件	118件	112件	209件
医師数	23名	25名	23名	23名	23名	21名
研修医の受入数	26名	25名	25名	22名	24名	24名
医学生の受入数	11名	4名	0名※	2名※	10名	8名
医学生の受入日数	62日	28日	0日※	4日※	63日	88日
出前健康講座	10回	6回	0回	0回	0回	4回
ほのか診察室	12回	12回	12回	12回	12回	11回
病院だよりの発行	12回	12回	12回	12回	12回	12回

■ ※…新型コロナウイルス感染症の影響により減少。

■ 出典：院内資料より。

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（5）救急医療（受入れ体制、件数等）①

- 平成18年度に深刻な医師不足に陥り、救急患者さんの受入れが厳しい状況となりました。
- 愛知県からの自治医科大学卒業医師の派遣により、段階的に救急医療体制を整え、現在は、**365日24時間の救急患者さん**に対応しています。
- 平成18年度～平成22年度、約**500件に落ち込んだ**救急患者さんの受入れは徐々に回復し、直近3年の平均は**1,227件**となっています。
- 令和6年度、新城市消防署管内の救急車の救急出動件数は、2,422件です。そのうち、当院には1,449件の問い合わせがあり、**1,243件（85.8%）**を受入れました。
- 当院では、主に**内科系医師1名、看護師2～3名で救急医療に対応**しているため、脳血管疾患や心血管疾患等は、豊橋市民病院、豊川市民病院、豊橋ハートセンター等に搬送されます。

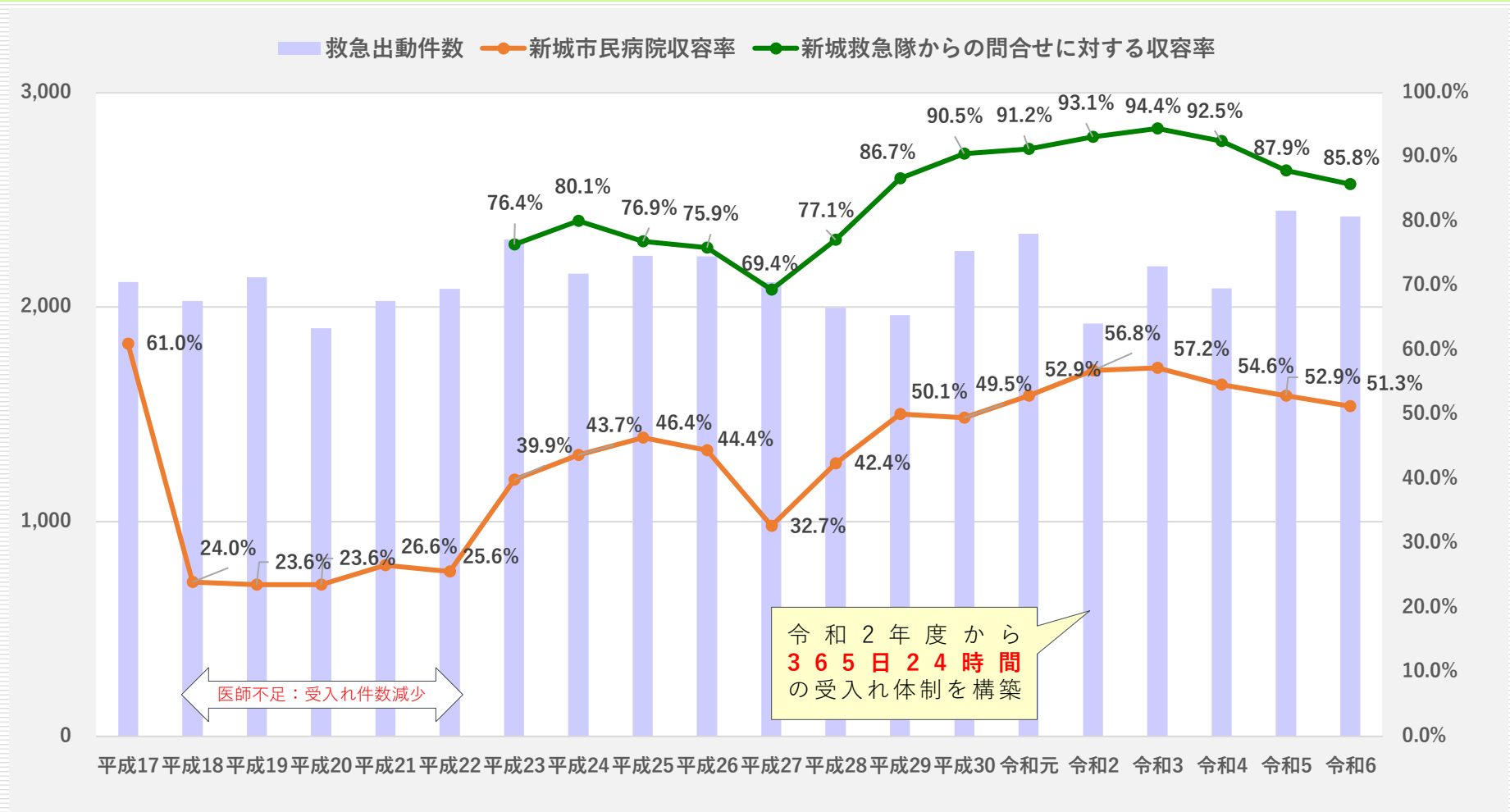
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
常勤医師数（人）	32	24	21	21	20	20	20	21	23	25	23	22	23	23	25	23	23	23	21	21
救急出動件数（件）	2,118	2,028	2,140	1,903	2,030	2,086	2,316	2,156	2,239	2,237	2,116	1,998	1,962	2,261	2,342	1,923	2,191	2,088	2,450	2,422
当院が受入れた件数（件）	1,293	486	505	450	540	533	924	942	1,040	994	691	848	982	1,119	1,240	1,092	1,254	1,141	1,297	1,243
割合（％）	61.0	24.0	23.6	23.6	26.6	25.6	39.9	43.7	46.4	44.4	32.7	42.4	50.1	49.5	52.9	56.8	57.2	54.6	52.9	51.3
当院への問合せ件数（件）	—	—	—	—	—	—	1,210	1,176	1,352	1,309	996	1,100	1,132	1,237	1,360	1,173	1,328	1,234	1,476	1,449
割合（％）	—	—	—	—	—	—	76.4	80.1	76.9	75.9	69.4	77.1	86.7	90.5	91.2	93.1	94.4	92.5	87.9	85.8

医師不足：受入れ件数減少

■ 出典：院内資料より。
■ 出典元（地方公営企業年鑑等）と院内資料の集計方法が異なるため、17ページに記載している各種指標と若干の差異が生じている場合がございます。

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（6）救急医療（受入れ体制、件数等）②



平成18年度
・医師不足により
救急患者の受入れ困難

平成23年度
・週1回の当直
・21時までの待機体制

平成24年度
・平日の宿直体制

平成25年度
・土曜の日直体制

平成26年度
・日曜の日直体制

平成29年度
・土曜の宿直体制

令和2年度
・日曜の当直体制
・365日24時間の
受入れ体制を構築

■ 出典：院内資料より。

■ 出典元（地方公営企業年鑑等）と院内資料の集計方法が異なるため、17ページに記載している各種指標と若干の差異が生じている場合がございます。

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（7）新興感染症

- 新型コロナウイルス感染症については、**公立病院の責務**として初期の段階から、受診や検査等の外来患者への対応に加え、新型コロナウイルス感染症病床を確保し入院患者の受入れを行ってきました。
- また、令和3年度には市からの要請により、新型コロナウイルスのワクチン接種について、当院の医師や看護師等が積極的に協力し、それにより高い接種率となりました。
- 日々の感染症対応に加え、衛生資材の適正量の備蓄等を行い、新興感染症等の発生時に継続して医療を提供できる体制を構築しています。

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	合計
検査の実施	38名	935名	2,875名	7,137名	3,607名	2,332名	16,924名
入院患者数	0名	17名	250名	161名	114名	－	542名
延べ入院日数	0日	223日	710日	1,189日	814日	－	2,936日

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（8）決算状況について①

単位：千円

名 称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1 総収益	3,950,321	3,762,731	3,691,599	4,374,652	4,314,167	3,902,365
(1) 医業収益	3,254,195	3,107,103	2,708,679	2,651,733	3,043,524	2,940,701
ア 入院収益	1,656,690	1,583,755	1,516,433	1,414,467	1,714,977	1,612,938
イ 外来収益	1,097,373	1,071,979	991,406	1,016,660	1,119,745	1,117,305
ウ その他医業収益	500,132	451,369	200,840	220,606	208,802	210,458
(2) 医業外収益	570,724	505,884	954,595	1,722,722	1,268,942	953,006
(3) 特別利益	125,402	149,744	28,325	197	1,701	8,658
2 総費用	3,690,241	3,700,619	3,637,497	3,714,426	3,993,922	3,978,974
(1) 医業費用	3,521,597	3,531,412	3,469,169	3,551,087	3,821,579	3,815,629
ア 職員給与費	1,953,588	1,979,152	2,156,996	2,179,395	2,247,329	2,213,813
イ 材料費	490,327	445,466	413,256	439,892	545,554	588,044
ウ 減価償却費	224,078	289,569	280,362	288,047	299,324	302,440
エ その他	853,604	817,225	618,555	643,753	729,372	711,332
(2) 医業外費用	168,644	169,143	168,328	163,339	172,343	162,919
(3) 特別損失	0	64	0	0	0	426
3 経常利益	134,678	▲ 87,568	25,777	660,029	318,544	▲ 84,841
4 純利益	260,080	62,112	54,102	660,226	320,245	▲ 76,609
5 職員給与費比率	60.03%	63.70%	79.63%	82.19%	73.84%	75.28%
6 材料費比率	15.07%	14.34%	15.26%	16.59%	17.93%	20.00%
7 医業収支比率	92.41%	87.98%	78.08%	74.67%	79.64%	77.07%
8 経常収支比率	103.65%	97.63%	100.71%	117.77%	107.98%	97.87%

○経常利益：【(医業収益＋医業外収益)－(医業費用＋医業外費用)】

○純利益：【総収益－総費用】

○職員給与費比率：【職員給与費÷医業収益×100】

○材料費比率：【材料費÷医業収益×100】

○医業収支比率：【医業収益÷医業費用×100】

○経常収支比率：【(医業収益＋医業外収益)÷(医業費用＋医業外費用)×100】

■ 出典：決算状況調査

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（8）決算状況について② 一般会計繰入金（市からの繰入金）等

単位：千円

	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益的 収入	救急医療確保経費	233,765	0	0	0	0
	保健衛生行政事務に要する経費	4,520	5,400	18,962	24,000	28,195
	建設改良に要する経費(企業債利息)	34,480	27,537	20,372	13,082	6,097
	リハビリテーション医療に要する経費	43,091	37,739	38,800	45,943	39,917
	小児医療に要する経費	31,147	32,632	28,059	29,287	34,079
	不採算地区中核病院の機能維持に要する経費	0	239,497	229,926	224,999	264,104
	研究研修費	4,922	3,718	2,762	5,515	4,696
	追加費用負担経費	17,147	16,419	14,606	13,266	12,321
	基礎年金拠出金公的負担経費	54,439	53,787	51,080	53,152	54,745
	児童手当	10,870	10,435	9,598	8,849	7,787
	院内保育所の運営に要する経費	10,860	11,547	10,335	13,332	11,927
	公立病院経営強化の推進事業	0	0	0	0	6,038
	医師確保対策に要する経費	113,330	115,089	202,106	174,710	205,847
資本的 収入	企業債償還元金	228,164	235,023	240,069	255,341	206,620
	建設改良費	44,237	10,000	40,325	45,524	24,627
	基準外繰入	60,750	82,135	0	0	0
	合 計	891,722	880,958	907,000	907,000	907,000

6. 内部環境調査（数字で見る新城市民病院）

（9）市の財政状況

- 令和5年度、新城市の実質負担見込額（実質的な借金・下表の④）は142億円で、平成19年度と比較すると、約28.0%減少しています。
- 市債残高のうち、新城市民病院の金額（下表の②）は、令和5年度は2.9億円で、平成19年度と比較すると、約93.4%減少しています。
- 基金（市の貯金・下表の⑤）は、65.7億円で、平成19年度を比較すると、28.0億円増加しています。しかし、貯金の2倍以上の実質的な借金があり、今後も人口減少に伴う歳入の減少等の可能性があります。

単位：千円

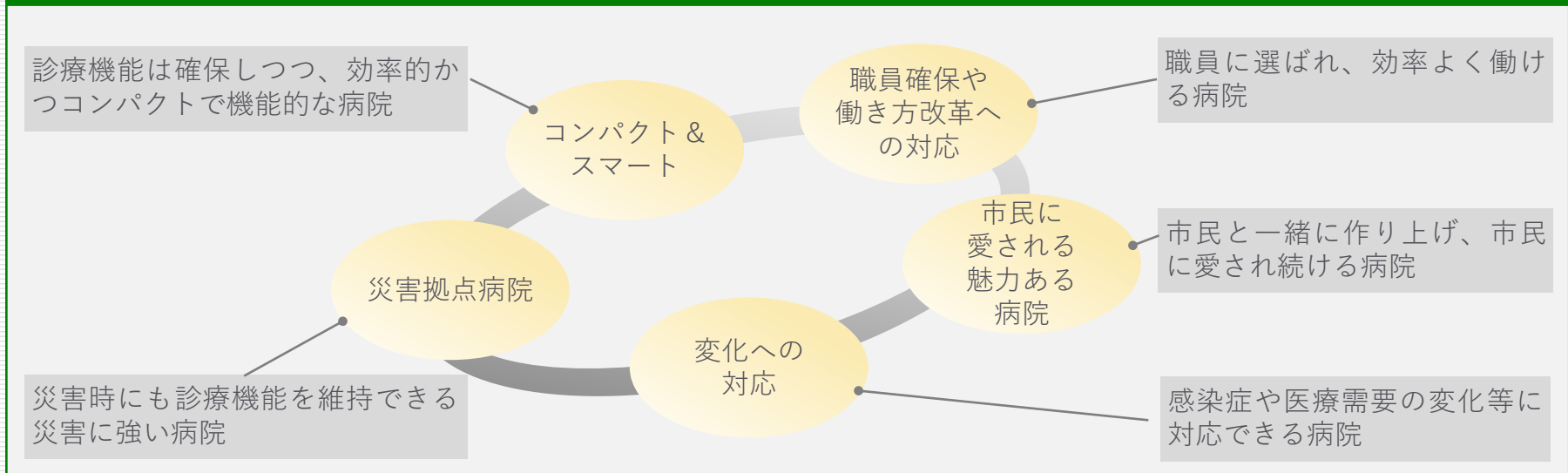
年度		平成19年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市債残高（市の借金）	①	42,851,251	42,201,826	42,380,402	41,893,380	40,623,617	39,884,705
	うち、新城市民病院の金額	②	4,450,657	1,513,329	1,251,180	981,965	633,647
			293,220				
地方交付税参入見込額	③	23,112,160	27,258,069	26,134,192	26,504,943	25,949,045	25,663,297
	割合	53.9%	64.6%	61.7%	63.3%	63.9%	64.3%
市の実質負担見込額（①－③）	④	19,739,091	14,943,757	16,246,210	15,388,437	14,674,572	14,221,408
	割合	46.1%	35.4%	38.3%	36.7%	36.1%	35.7%
基金（市の貯金）	⑤	3,769,150	6,507,286	6,280,434	7,033,889	6,964,161	6,573,178

7. 基本構想策定に向けて

(1) 昨今の新病院整備の現状

- 昨今、**建築費は高騰**しており、新城市民病院のあり方検討を実施した令和4年度頃と比較しても約1.5倍になっています。
- また、令和5年度以降、物価の高騰や人件費の上昇等により病院経営は厳しい状況にあり、公立病院の**約70.4%（854病院中601病院）が赤字経営**です。（総務省：令和5年度地方公営企業年鑑より）
- そのため、新城市民病院に求められる役割や果たすべき役割と、新病院整備費用の双方を踏まえ、無理や無駄のない**最適な機能の検討**と経営改善に向けた取組みが重要となります。

～持続可能な新病院整備の為に～



7. 基本構想策定に向けて

(2) 当院の取組み

- 新城市民病院の新病院建設プロジェクトは、市民や職員に現状を知っていただき、しっかりと**合意形成を図りながら進める**ことが重要と考えています。
- そのため、令和7年度以降、以下の取組みを実施、予定しております。
 - 基本構想院内検討委員会の立ち上げ
 - 職員アンケート（現在、実施中）
 - 患者様アンケートの実施（4月～5月・次ページ以降参照）
 - 市民ワークショップの開催（6月、7月、9月開催・次ページ以降参照）
 - 東三河北部医療圏内の医療機関へのアンケートの実施（令和7年秋頃予定）

7. 基本構想策定に向けて

(3) 患者様アンケートについて

- アンケート期間 令和7年4月25日～5月30日
- 有効回答数 764件

【回答者の性別】

回答	件数	割合
1. 男性	401件	52.5%
2. 女性	360件	47.1%
3. 回答しない	3件	0.4%
合計	764件	100.0%

【回答者の居住地】

回答	件数	割合
1. 新城市	602件	78.8%
2. 設楽町	42件	5.5%
3. 東米町	21件	2.7%
4. 豊根村	5件	0.7%
5. 豊川市	53件	6.9%
6. 豊橋市	15件	2.0%
7. その他市町村	22件	2.9%
8. 回答しない	4件	0.5%
合計	764件	100.0%

【回答者の年齢】

回答	件数	割合
1. 10歳未満	4件	0.5%
2. 10～19歳	3件	0.4%
3. 20～29歳	51件	6.7%
4. 30～39歳	53件	6.9%
5. 40～49歳	86件	11.3%
6. 50～59歳	122件	16.0%
7. 60～69歳	140件	18.3%
8. 70～79歳	195件	25.5%
9. 80～89歳	98件	12.8%
10. 90～99歳	11件	1.4%
11. 100歳以上	0件	0.0%
12. 回答しない	0件	0.0%
13. 回答なし	1	0.1%
合計	764件	100.0%

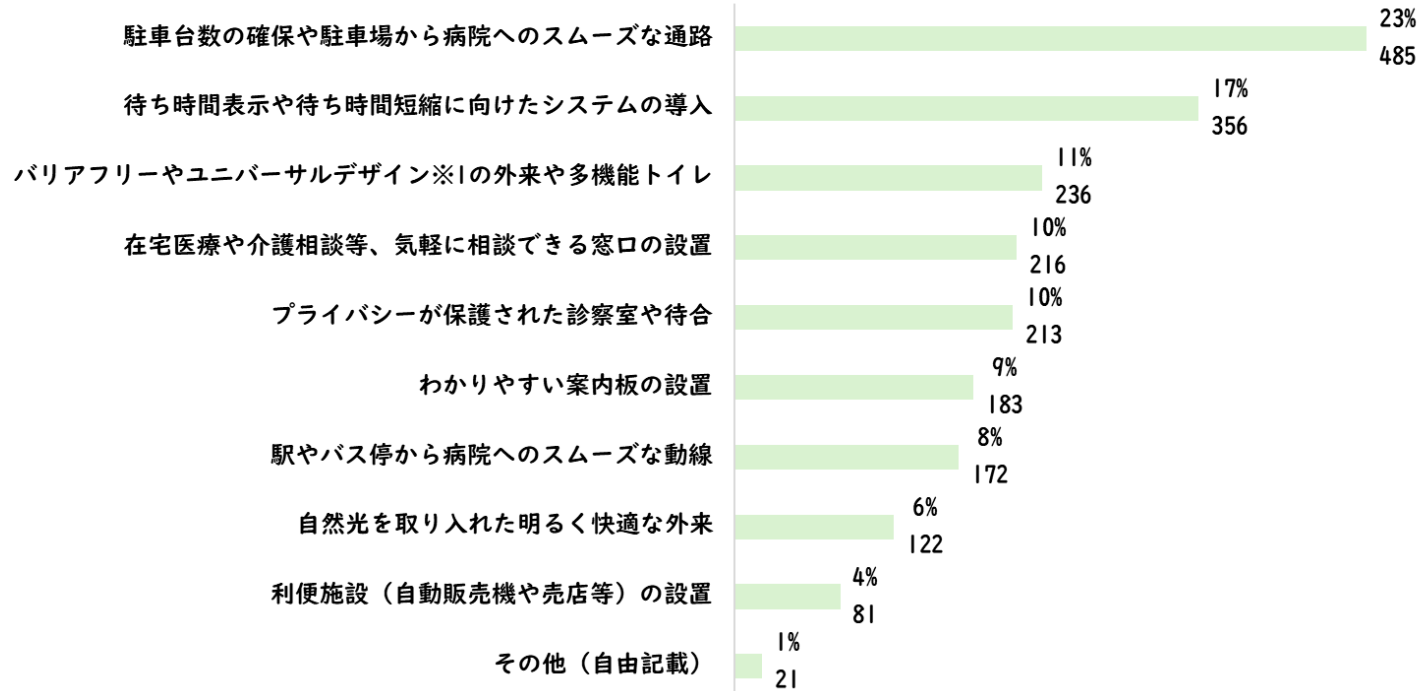
【回答者の来院方法】

回答	件数	割合
1. 車（自身）	559件	73.2%
2. 車（家族送迎）	131件	17.1%
3. バス	9件	1.2%
4. 電車	4件	0.5%
5. タクシー	3件	0.4%
6. 自転車	9件	1.2%
7. 徒歩	33件	4.3%
8. オートバイ	2件	0.3%
9. 救急車	9件	1.2%
10. その他	4件	0.5%
11. 回答なし	1件	0.1%
合計	764件	100.0%

7. 基本構想策定に向けて

(3) 患者様アンケートについて

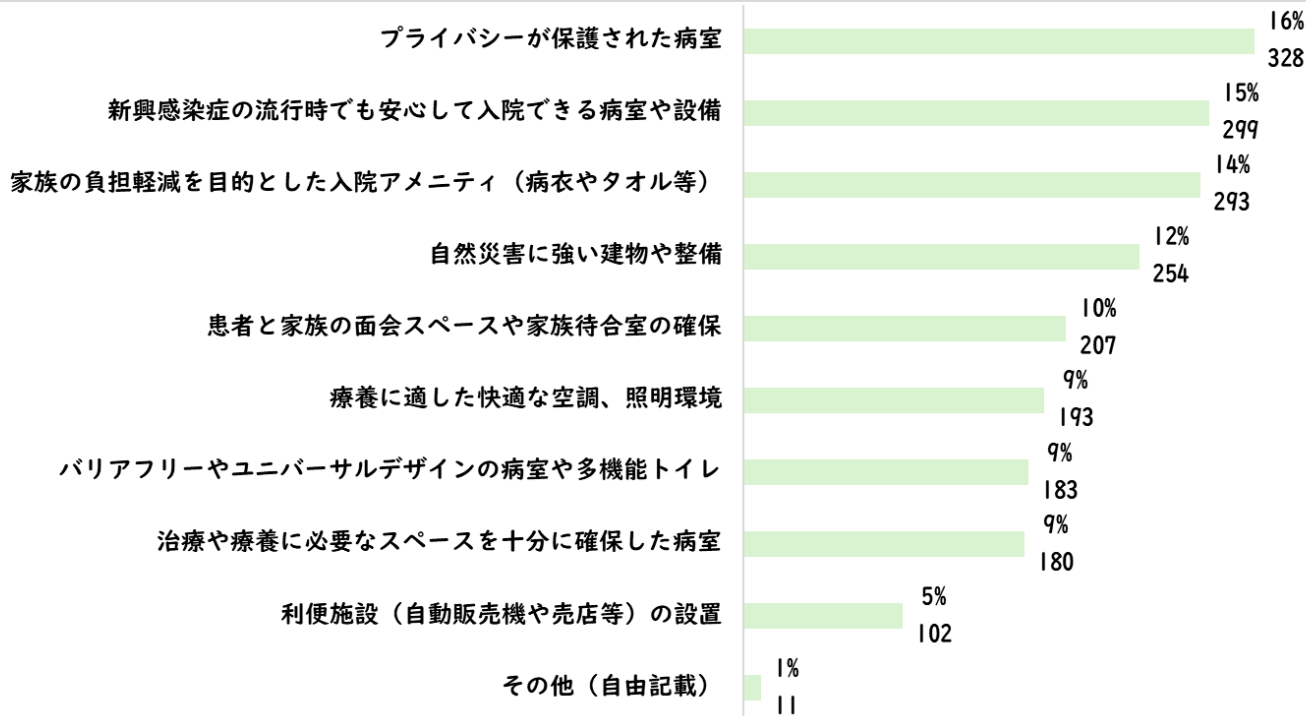
- **外来に求める機能**については、『駐車場』と『待ち時間』に関する回答が多くを占める結果となっています。



7. 基本構想策定に向けて

(3) 患者様アンケートについて

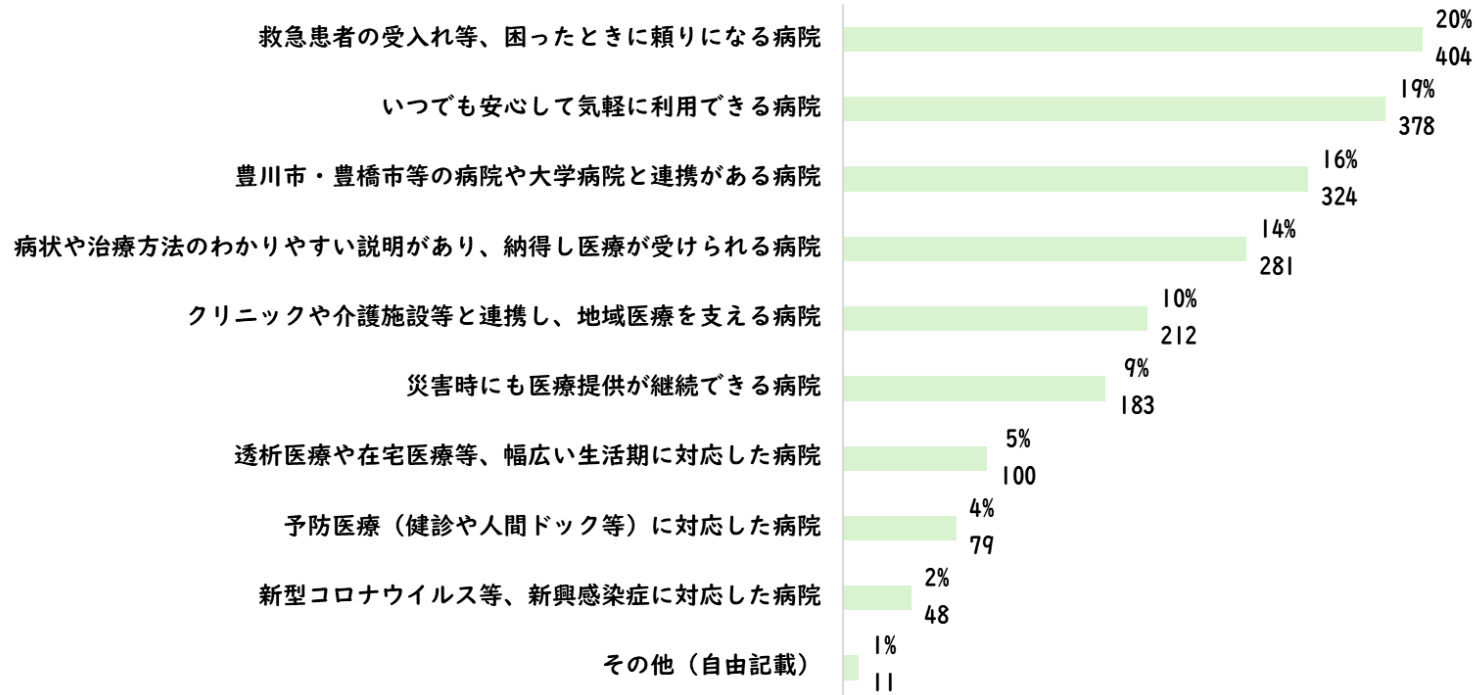
- **入院に求める機能**については、『プライバシー』と『新興感染症』『入院アメニティ』に関する回答が多くを占める結果となっています。



7. 基本構想策定に向けて

(3) 患者様アンケートについて

- **新病院に求める機能**については、『救急患者の受入れ等、困ったときに頼りになる』『安心して気軽に利用できる』『豊川市・豊橋市等の病院や大学病院との連携』に関する回答が多くを占める結果となっています。



7. 基本構想策定に向けて

(4) 市民ワークショップについて

市民に市民病院の現状を知ってもらい、どうあるべきかの思いをお聞きし、「市民が創り支える病院」となるように「みんなで考えよう あなたのまちの市民病院 あなたの思い・意見を聞かせてください 市民病院を知ってください」をタイトルに計3回のワークショップを企画しました。

なお、市民の方は3回とも出席できる方で募集をしました。市民だけでなく行政職員、消防職員、市民病院職員も参加しています。

【第1回市民ワークショップ】

- 1回目を6月21日（土）、新城市民病院外来棟2階で開催し、市民や消防職員、市役所職員、市民病院職員等、45名の方にご参加いただきました。
- 当日は、市長や院長よりご挨拶いただき、市民病院の現状と課題について説明を実施しました。
- また参加の皆様には当院の実状を知っていただくため、院内見学を実施しました。



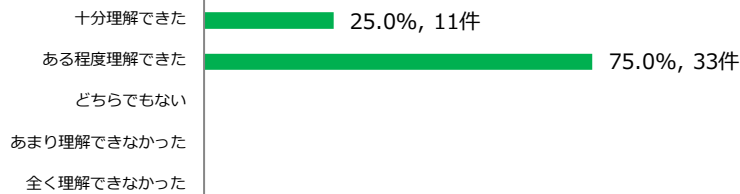
7. 基本構想策定に向けて

(4) 市民ワークショップについて

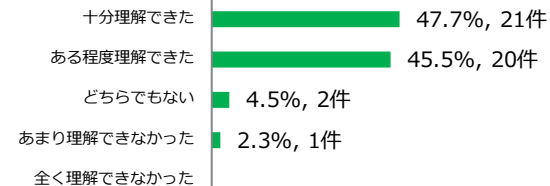
【第1回市民ワークショップ】

- ワークショップ終了後、参加者の皆様に、理解や共感の程度を問うアンケートを実施しました。44名の参加者から回答をいただきました。回答結果を以下に記載します。

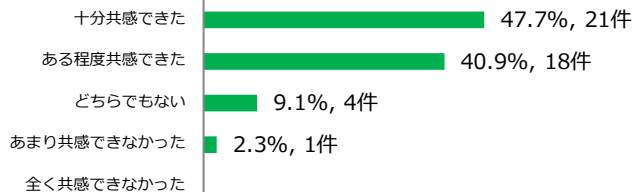
問.新城市民病院の現状について理解できましたか。



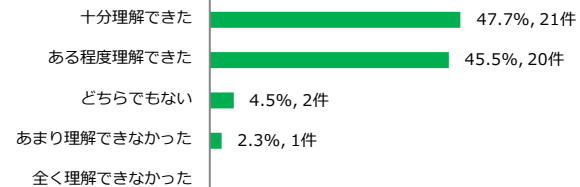
問.新城市民病院の課題について理解できましたか。



問.建替え事業の必要性について理解できましたか。



問.建替え事業に対する取り組みに共感できましたか。



7. 基本構想策定に向けて

(4) 市民ワークショップについて

【第2回市民ワークショップ】

- 7月26日（土）、新城市民病院講義室で、「第2回新病院建設基本構想市民ワークショップ」を開催し、市民や消防局員、市役所職員、市民病院職員等、49名の方にご参加いただきました。
- 第2回は「『市民が創り、支える病院』を実現するために、ワークショップ参加者（市民）より、『市民病院に期待する役割・機能は？』、『**どのような施設、設備、サービスを望むか？**』の意見を出していただくこと」を目的として掲げ、**意見交換**を実施する場となりました。



7. 基本構想策定に向けて

(4) 市民ワークショップについて

【第2回市民ワークショップ】

- 参加者には8グループに分かれていただき、新病院で「実現したい、実現すべき」と思う内容について、参加者から「ソフト面」「ハード面」に分けて**意見出しを実施**しました。
- 集まった意見はグループ内で検討いただき、ソフト面、ハード面それぞれ最大3つずつ、「**グループ全体の代表意見**」として抽出しました。
- 第3回市民ワークショップでは、グループ全体の代表意見について、各グループから説明いただいたのち、48個（8グループ×6個）の代表意見について、**参加者全員に投票**をしていただく予定です。
- 投票の結果、**上位3つの意見をワークショップの重点施策**としてとりまとめ、基本構想への反映を予定しております。

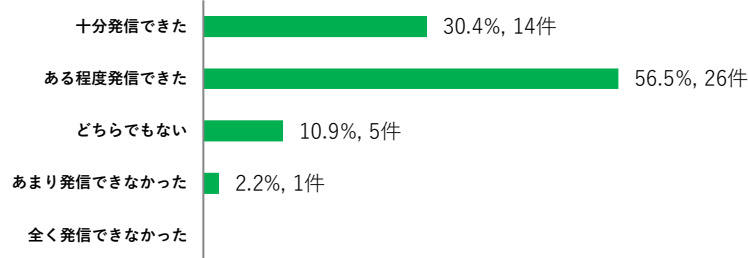
7. 基本構想策定に向けて

(4) 市民ワークショップについて

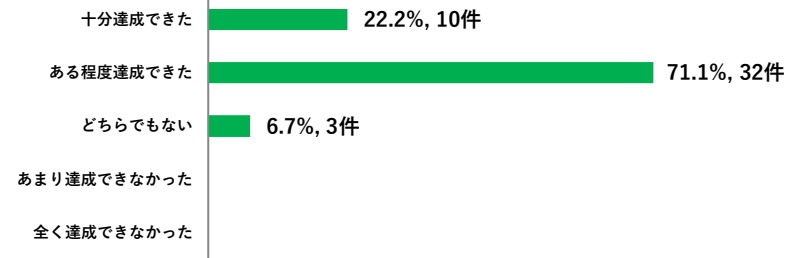
【第2回市民ワークショップ】

- ワークショップ終了後、参加者の皆様に、理解や共感の程度を問うアンケートを実施しました。45名の参加者から回答をいただきました。回答結果を以下に記載します。

問.グループでの発表では、ご自身の意見を発信できましたか。



問. ワークショップ開催目的は達成できたと感じますか。



【目的】

「市民が創り、支える病院」を実現するために、ワークショップ参加者（市民）より、「市民病院に期待する役割・機能は？」、「どのような施設、設備、サービスを望むか？」の意見を出していただくこと。

8. 基本構想の方向性（案）

（１）基本構想の主な視点

①

医療機能の整備と費用抑制

- 人口減少が加速する中、患者数の確保や当院で受入れ可能な救急患者の受入れ等、**経営改善も踏まえた**取組みを継続する。
- 適正病床数や求められる医療機能の整備も踏まえつつ、**新病院整備費用の抑制**を踏まえた取組みを行う。



- 救急医療や感染症対応等、今後も**公立病院の使命と役割**を果たす。
- 医療実習生の受入れ等、**医療人育成**をに引き続き取り組む。
- 健康教室の開催等、**市民の健康増進**に寄与する活動を継続する。

選ばれる病院

②

- 市民ワークショップ等を通じ、市民の意見を取り入れ、**市民の皆様から愛され、選ばれる病院作り**を目指す。
- 職員から選ばれる病院作りを心掛け、**職員確保や職員の満足度向上**に努める。

③

公立病院

④

地域医療

- 東三河南部医療圏との**連携強化**が必要（心疾患や脳卒中等）。
- **回復期機能**の強化を目指す。
- **災害拠点病院**や**へき地医療拠点病院**としての機能を果たす。